

# 転貸融資半減6.4億円

## 北保証 サービス 15年度第3四半期末

北海道建設業信用保証グループの北保証サービス（本社・札幌）は、2015年度第3四半期末（4月12日）の金融事業取  
り扱い実績をまとめた。元請け建設会社が資金調達に使う地域建設業経営強化融資制度（転貸融資）は、国土交通省の助成支  
援が終了した影響で、6億4300万円と前年度同期から半減。制度を創設した10年度の水増しに戻った。下請け企業の連鎖倒  
産を防ぐ下請債権保全支援事業（債権支払保証）も半減の6億4700万円にとどまっている。しかし、下請け企業が適正な  
利潤を得るための元請け企業の選別受注が進み、むしろ建設市場の正常化を印象付ける。

### 国の金利助成終了が影響

北保証サービスは10  
月から一律で金利を0.  
25%助成するサービスを  
始めたが、大規模工事を  
担う利用者は負担額が大  
きくなり、小規模・中規  
模工事の利用者は法定の  
実費負担が重くなったと  
語る。

北保証サービスは10  
月から一律で金利を0.  
25%助成するサービスを  
始めたが、大規模工事を  
担う利用者は負担額が大  
きくなり、小規模・中規  
模工事の利用者は法定の  
実費負担が重くなったと  
語る。

で、現在の金利助成に加  
えて査定額の緩和など独  
自の工夫を検討している。  
一方、元請けの工事代  
金債権を保証する債権支  
払保証は、前年度同期に  
比べて件数が13件減  
の117件、金額が55.  
9%減の6億4678万  
円となった。内訳は、個  
別保証の売掛金保証が2  
億2377万円、手形保  
証が2億5328万円、  
枠保証が1億6973万  
円など。

た。4月以降1億円を  
超えたのは、5月のみ  
で、9月は口だった。  
北保証サービスは「リ  
ーマンショックの後遺症  
が影響を帯び、倒産件数の  
減少に比例して実績が少  
なくなっている。市場が  
好転している」と語り、  
順調な受注から心理的に  
下請けが優位となり、元  
請けの選別受注が常態化  
しているが、工事量の減  
少が濃い始め、下請けの  
与信管理は再び徹底され  
るもようだ。